

公表日

令和7年3月20日

事業所名

こぼんはうさくら神戸湊川教室

保護者等数(児童数) 16名

回収数 16件(割合100%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			ご見学や面談時等に教室内を見ていただく機会を設けております。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12		1	3	十分な配置を心がけております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1			お子様に分かり易く、特性に応じて可能な限りバリアフリー化を心がけております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1		1	・こぼんに通い始めてから言葉が増えました。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			2	日々の活動内容はお帰りの送迎時や電子連絡帳システムを利用して毎回お知らせするようにしております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16				児童発達支援ガイドラインに則った支援内容に設定しております。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15			1	職員間で計画内容を共有し、専門的支援を含め、計画に沿った支援を行っております。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				職員で検討しながら月のプログラムを前月に立案&計画決定を行い、新しいレクリエーションも積極的に取り入れております。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6		3	7	必要に応じて検討してまいります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				ご契約時にご説明するようにしております。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				個別支援計画書を保護者様とごしよに確認しながら説明しております。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14	1		1	・先生の話から子供の様子が分かる。 日々の電子連絡帳やLINE,お電話、送迎時等利用して行うようにしております。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14			2	・面談時に子どもの様子を見れたのが良かったです。 定期的な面談と必要に応じて随時行うようにしております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	2	3	・クリスマス会や参観などで児発での様子を知ることが出来たので良かったです。また親子イベントがあれば参加したいです。 ・クリスマス会楽しみます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3				

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			・送迎時に子どもの様子を聞くことが出来ています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14		1	1		定期的に教室内でのこぼん通信やInstagram、電子連絡システム等で活動概要等発信し、自己評価の結果はこぼんHPにて発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16					個人情報書類等、鍵付き書庫にて保管し、不要書類はシュレッダーにて破棄するようにしております。電子機器もパスワード管理をしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		1		毎月避難訓練等を実施しておりますが、より周知できるよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1		1		レクリエーションの中にも取り入れ、定期的に各種避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1		1		引き続きご利用児の安全に尽くした支援を行うとともに、周知にも努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2		1	・けがをした時には写真付きで報告をしてくれています。	事故やお怪我等発生時には迅速に対応し、速やかに保護者間へご連絡するよう、今後も努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15			1	・写真や先生の話聞いて安心できます。	引き続きお子様・保護者様に安心感をもってご通所いただけるよう、支援に努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1	1	1	・利用前日は「明日はこぼん！」と楽しみにしています。 ・毎回楽しく通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1			・子ども楽しく通っており、写真や先生からの話を聞いて安心することが出来ます。 ・こぼんさんのおかげで今年も沢山成長出来ました。	

公表日

令和7年3月20日

事業所名

こぼんはうすさくら神戸湊川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		十分なスペースを確保しております。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	適切な配置を行っております。	よりより支援に繋がるよう、引き続き配置は適宜検討してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		可能な限りお子様の特性に応じた環境を作り心掛けており、バリアフリー化にも努めております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		整理・整頓・消毒等、こまめに行い清潔で過ごしやすい空間作りを心掛けております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		お子様の状態に合わせて、個別のお部屋や場所の使用も認めております。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々、送迎時やLINE、面談等の機会を設けて改善が必要な場合は適切に対応しております。	評価表以外の日々のお声も職員間で共有し業務改善に努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝終礼や月1回程度のミーティング開催にて業務の方向性や児童の情報や計画の共有、イベントやレクリエーションなどの意見交換を行っています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		より良い支援に繋がるよう、今後検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		動画での研修や年に数回半日営業の日を作り、講師による研修を行っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		前々月にプログラムの計画書を作成し、前月の月初めに電子情報にて公開している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		個々のお子様のアセスメントを適切に行い、お子様や保護者様からのご意向や課題を客観的に分析し、職員間でも状況を協議して作成しております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		日々の朝終礼時や月に1度のミーティング開催、空き時間などを利用し職員間で考え、共有している	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントと、必要な情報等の項目を加えたインフォーマルなアセスメントも使用しております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	毎月同じ内容にならないよう、職員同士で意見交換をしながら工夫している。	引き続き、よりより療育が提供できるよう努めてまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎月同じ内容にならないよう、職員同士で意見交換をしながら工夫している。	引き続き、よりより療育が提供できるよう努めてまいります。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		毎月同じ内容にならないよう、工夫している。	引き続き、よりより療育が提供できるよう努めてまいります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	職員同士で声を掛け合いながら、日々行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終礼での振り返りで日々の情報共有を行い、次に繋がる支援を検討している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		検証・改善になるように支援を変化させながら行っている。			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しと面談を実施			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		可能な限り参画に努めてまいります。		
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		必要に応じて実施してまいります。		
	28	(28～30は、センターのみ回答)						
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。						
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。						
	31	(31は、事業所のみ回答)						
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6			必要に応じて今後も検討してまいります。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6			必要に応じて検討してまいります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7			お電話やLINE、送迎時(帰り)に保護者様とお子様のご様子をお話します。		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2			今後研修の機会等も検討してまいります。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			契約時に必ずご説明するようにしており、面談室にも自由に閲覧可能な状態で設置しております。	
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			定期的な面談等を行い、必ずお子様や保護者様のご意向をお伺いする機会を設けております。	
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			定期的な面談を行い、保護者様と一緒に確認しながらご説明を行っております。		
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7					
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			児童・保護者様・職員が話をしたり、一緒に活動を楽しめるように年に1・2回親子イベントを開催しております。	今後も出来る限り交流の機会を設けることが出来るよう努めてまいります。	
40		こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			相談や申し入れがあった際は迅速に対応しております。	今後も迅速かつ的確に対応できるように努めてまいります。	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			インスタグラムにより活動の様子を公開しており、月に1回こぼれ通信(紙ベース)お渡ししています。		
42		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			個人情報書類等、鍵付き書庫にて保管し、不要書類はシュレッダーにて破棄するようにしております。電子機器もパスワード管理をしております。	今後も個人情報の取扱いについては十分留意して取り扱ってまいります。	
43		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			意思の疎通や情報伝達出来るよう、お子様や保護者様に合わせた配慮を行っております。		
44		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5			必要に応じて検討してまいります。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		定期的に研修や訓練等も実施しており、各種対応マニュアルを作成しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCP計画の策定を行い、月1度はプログラムの中に組み込み様々な災害の避難訓練を行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に必ず確認を行っており、変更時含め、職員間で情報共有を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時に必ず確認を行っており、変更時含め、職員間で情報共有を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			より良い支援に繋がるよう、今後も可能な限り必要な研修や訓練の機会を設けてまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	日々の業務日報内に記入し、職員間で共有後、再発防止策を検討して取り組んでおります。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		外部の虐待研修や動画等も利用しながら適切な対応を心掛けております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	3	現時点で拘束が必要な児童がいなかったため、計画書には記載していません。	必要に応じて迅速に対応してまいります。